



令和7年7月3日発行

学校だより

第7号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教 育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

“良い時間”となる面談に

校長 小澤 託

いよいよ7月に突入しました。期末考査も終わり、三者面談が終われば、いよいよ夏休み。生徒にとっては、待ちに待った…というところでしょうか。どの学年、どの学級でも、「この夏をどのように過ごすべきなのか」の話は先生方から言われているはず。せっかくの長期休業になりますので、有意義な夏にしたいと思います。

さて、その夏休みの前に、非常に重要で大切な三者面談が予定されております。この三者面談が、なぜ大切なのか、改めてお伝えします。

まず1つ目は、生徒の学校での様子をお伝えすることです。(学習や学校生活の様子を共有)
家にいる時と学校にいる時と変わらず生活できる生徒はあまりいないと思います。学校で開放的になっている生徒もいれば、緊張している生徒もいるはず。学校という集団生活の中でどのように生活をしているか、を保護者にお伝えします。担任からお伝えする内容は、保護者の皆様にとってうれしくなるような話かもしれませんし、耳が痛くなるような話かもしれません。しかし、一番近くで見ている担任からの話なので、ぜひ受け止めていただき、2学期に向けての励みにしていただければと思います。



2つ目は、生徒の家庭での様子を教えていただくことです。(家庭と学校の連携強化)
先ほどもお伝えしましたが、生徒は、家の中と外では違う表情(面)を持っているはず。大人だってそうですから、成長段階にある生徒はなおさらだと思います。学校では見えない(分からない)生徒の良い部分や苦しんでいる部分、もしくは、保護者が困っている点などを教えていただき、家庭と学校と一緒に良い所を伸ばし、悩んだり苦しんでいた部分は共有し、改善できるよう協力できればと思っています。

3つ目は、主体的な生徒の様子を確認することです。(生徒の主体性を尊重)
面談の主役は、生徒です。生徒の考えや思いをたくさん聞く機会です。面談になるとおっつりしてしまう生徒や面倒くさそうな顔をする生徒がいますが、それでも担任と保護者と同時に生徒の話を聞くことのできる貴重な機会です。生徒の発する言葉や思いを受け止める時間を作ればと思っています。生徒の発する言葉を待たずにお話をしたがる保護者の方が時々あります。そんな保護者の方のお気持ちも分かりますが、ぜひ生徒の声に耳を傾けて生徒の話を聞いてほしいと思います。

3年生はこれらに加えて進路に関する話もあると思います。短い時間ですが、受験に関する不安や心配を少しでも解消できる時間にしていただければ幸いです。

大方の生徒にとって、三者面談は苦痛であり、恐怖の時間に値すると思います。(私もそうでした!おそらく私だけではないと思いますが…) 学校での様子を担任から保護者に公表されるわけですから、何を言われるか心配でたまりません。しかし、保護者や学校からしてみればやはり貴重な機会です。面談が終わった後に“良い時間だった”と思えるような面談になることを願っています。

<ちょっと感じたこと①>

6月に都議選がありました。ある新聞の集計によると、都議選の当選者127名の内訳は、男性79名、女性47名、性別非公表1名との発表がありました。そして、女性の当選者は、2021年の前回の選挙(41名)を上回り、7回連続で過去最多を更新。ちなみに女性立候補者数も98名と過去最高だったとのこと。

近年、夏の風物詩である高校野球の地方大会では女性が審判員を行ったり、将棋の日本将棋連盟の会長には、羽生会長の後を清水市代さんという女性会長が就任したりしています。これからの世の中は、男性だから、女性だからという壁はさらになくなっていくはず。挑戦できるチャンスは平等なはず。だからこそ、目の前にあるチャンスを逃さない気持ちとチャンスが来た時に挑戦する気持ちを伸ばしてほしい。

<ちょっと感じたこと②>

中高生の英語力に関する文科省の調査結果が発表されました。
2024年度、中学校3年生の一定水準の英語力(英検3級以上)を持つ生徒の割合は、全国平均で52.4%。東京は61.8%。高校3年生においては、全国平均51.6%。東京60.5%(高校3年の一定水準の英語力は英検準2級以上)。

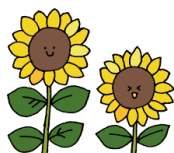
よりグローバルな社会になっていく上で英語は必須と言われております。実際にこの数字を目にした時は、ちょっとびっくりしました。チャンスがあるなら受けておいた方がいいかもしれません。ちなみにさいたま市は89.2%(中3)だったそうです。さらにびっくり!!



<ちょっと考えてほしいこと>

沖縄慰霊の日(沖縄県が制定している記念日で6月23日)

沖縄県の小学校6年生の城間^{いぶき}歩輝さんが「おばあちゃんの歌」を朗読しました。ぜひ、生徒のみなさんにも読んでもらいたいです。



平和の大切さや人の命、生きる、家族、様々なことを考えさせられます。世の中には、戦争や紛争のせいで一日を生きることによって精一杯の人たちがたくさんいます。夜も眠れず、食事もままならない人が世界にはたくさんいるのです。不自由なく生活している私たちはどう過ごすべきなのでしょう?考えてみませんか?

～生徒の活躍②～

<夏季総体>

ソフトテニス部 : 男子・女子 団体戦 予選敗退

卓球 : 女子シングルス

<夏季ブロック大会>

剣道 : 男子個人 男子団体ベスト8 都大会進出

<都剣道連盟会長杯 第6ブロック予選会>

剣道部 : 男子団体 ベスト8 本選(都大会進出)

<歯の健康ポスター>

代表作品 :

